



青葉みらいづくり大学校 2022



青葉区役所 NPO 法人まちラボ



発行年月：2023年3月

発行・編集：青葉区役所区政推進課地域力推進担当 NPO 法人まちラボ



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。

主催：青葉区役所・NPO 法人まちラボ

協力：青葉区連合自治会長会





目次

1. はじめに	2
2. 第1回講座の概要	3-4
開校式・基調講演・まち探索		
3. 第2回講座の概要	5-6
思いを共有しよう		
4. 第3回講座の概要	7-8
他地区の事例から学ぼう		
5. 第4回講座の概要	9-10
アイデアをまとめよう		
6. 第5回講座の概要	11-12
マイプラン発表会・卒業式		
7. 受講生のマイプラン	13-15
8. 講座を終えて	16
受講生・マイプラン発表会出席者からの感想		
9. まとめ	17-18



はじめに

今、自治会町内会はコロナ禍での行事の運営、担い手不足、防災、居場所づくりなど多くの課題を抱えています。それぞれの自治会町内会が個々に考えていても、これらを解決するのはなかなか難しいものです。

今年度の青葉みらいづくり大学校は「地域の『困った!』を持ち寄って、みんなのアイデアで『イイネ!』に変えよう」をコンセプトに各連合自治会町内会から推薦された皆さんが受講されました。グループワークや意見交換を通して、また他地域の事例を学ぶことで課題解決のための糸口やアイデアの種を見つけ、それを基にご自身の地域活動をより良いものとするための「マイプラン」作成を目指しました。

この報告書はその自治会町内会活動の課題解決法を学ぶことをテーマとした講座の記録です。

青葉みらいづくり大学校 2022 実施内容

【スケジュール】

1. 11月13日(日)	9:30~16:30	開校式・基調講演・まち探索
2. 11月26日(土)	9:30~12:30	思いを共有しよう
3. 12月17日(土)	9:30~12:30	他地区の事例から学ぼう
4. 1月21日(土)	9:30~12:30	アイデアをまとめよう
5. 2月4日(土)	13:30~16:30	マイプラン発表会・卒業式

【対象】 青葉区在住で各地区連合自治会・町内会長の推薦を受けた方

【主催】 青葉区役所・NPO法人まちラボ 協力：青葉区連合自治会長会

【学長挨拶】

青葉区連合自治会会長 会長 関根宏一



「孫の代まで誇れるようなまちづくりを」と願い、長年自治会町内会活動に取り組んできました。若い世代にもっと自治会町内会に関心を持ってもらい、共に地域の活性化を図りたいと考えています。自治会町内会活動はまちづくり活動です。一緒にまちづくりを楽しんでいきましょう。

【副学長挨拶】

青葉区長 天下谷秀文



青葉みらいづくり大学校は、新たな視点で地域活動に向き合い、他地区の活動事例から学ぶ貴重な機会です。自治会町内会活動でその学びを活かし、住みよいまちづくりにチャレンジしてみませんか？
青葉区役所は卒業後も皆さんを応援いたします。

【講師プロフィール】 NPO法人まちラボ 代表理事 大越雅美

専業主婦として子育ての傍らPTA活動や、地域のボランティア活動を経験したのち、横浜市都筑区で地域活動支援、市民活動支援担当として13年勤務。その間、学校地域コーディネーターやNPO法人理事として、当事者としての活動も継続。今年度NPO法人を設立し、代表を務める。



第1回 開校式・基調講演・まち探索

日時：11月13日（日）9:30～16:00

場所：青葉区役所4階会議室

プログラム

仲間と出会う・自治会町内会活動の可能性を知る

■ 基調講演

「今、求められる共助コミュニティと令和の自治会町内会の運営と活動」

講師：水津陽子さん（合同会社フォーティR&C代表社員・まちづくりコンサルタント）

【講演内容】

自治会・町内会の担い手を増やすためには、今までのやり方を活かしつつ、スリム化、IT化、個人の負担軽減のために新しい発想も取り入れながら、実行委員会形式やボランティア制度の導入をするなど、時代に合った取組も。コロナ禍での活動をすべて中止にするのではなく、小規模な集まり、オンラインの活用、時間短縮などの工夫で、コミュニティのつながりを維持すること、会則（付則含む）を整備し、情報をオープンにすることで会員の理解を深める等、様々な事例に基づくお話をいただきました。

■ 講師プロフィール：1998年独立開業、地域資源を活かした地域ブランドづくり観光振興、協働推進や自治会・町内会活性化など、地域活性化・まちづくりに重点を置いた企画コンサルティング、講演、調査研究、執筆活動を行っている。横浜市をはじめ全国での講演実績多数。



講師の水津さん



基調講演の様子

■ まち探索



最後に訪れた「平津 SUN サロン」



まち探索の感想をシェアしました



青葉みらいづくり大学校 2022

青葉みらいづくり通信



開校式・基調講演 11/13

青葉みらいづくり大学校 第1回

「青葉みらいづくり大学校 2022」の開校式が、11月13日（日）に青葉区役所で開催されました。開校式では、地区連合自治会・町内会長の皆様にもご臨席いただき、学長である青葉区連合自治会会長の関根会長からのご挨拶に続き、副学長である青葉区の天下谷区長、講師であるNPO法人まちラボの大越代表理事から受講生の皆様にメッセージをお伝えしました。そして、「今、求められる共助コミュニティと令和の自治会町内会の運営と活動」

のテーマで、水津陽子さん（合同会社フォーティR&C代表社員 まちづくりコンサルタント）から基調講演が行われました。自治会町内会の地域コミュニティとしての可能性を、さらに広げるためのアドバイスや事例を、たくさん聴くことができました。今年度は、地区連合自治会・町内会長から推薦を受けた19名の受講生の皆様が集まりました。今回を含め全5回の講座を通じて、多くの学びがあることを願っています。



開校式 関根学長からご挨拶



基調講演を聴く受講生の皆さん

青葉区の魅力を探しにまちへ

開校式・基調講演の後、「見守り・居場所づくり」「担い手づくり」「防犯・防災」の3つのグループに分かれてまち探索に出かけました。

START !!

01 美しが丘公園

たまプラーザ駅から、「次世代郊外まちづくり」を象徴するCO-NIWAたまプラーザの「コミュニティコア」と「さんかくBASE」を経由して、美しが丘公園へ向かいました。美しが丘公園では、「6歳の私」をテーマに懐かしい思い出話で盛り上がりました。受講生の皆さんは、わずかな時間にも、親しくコミュニケーションを取っていました。

さあ！でかけよう
たまプラーザへ



CO-NIWA さんかくBASE



02 100段階プロジェクト



「ヨコハマ市民まち普請事業」の平成30年度整備提案に選考された「100段階」を見学しました。この日は、ちょうど階段の塗り直しが行われており、ボランティアの方が大勢集っていました。そしてプロジェクトのリーダーである藤井本子さんから、事業内容やプロジェクトに対する思いを伺うことができました。塗装の色や階段に貼られたプレートについても説明していただきました。地域に対する熱い思いも感じさせていただいたひと時でした。



GOAL !!

第2回 思いを共有しよう

日時：11月26日(土) 9:30～12:30

場所：青葉区役所4階会議室

プログラム

マイプランの種を発見する①

■ 自己紹介ワーク

- ・「私の取扱説明書」

■ ワーク1 ワールドカフェ

- ・1ターン目 課題の抽出・現状把握
- ・2ターン目 自身のアイデアを共有する

■ ワーク2

- ・アイデアシートづくり



ワールドカフェ方式で各テーブルを回り、課題や困りごとを解決するためのアイデアを出し合う



模造紙にはアイデアやヒントがたくさん



青葉みらいづくり大学校 2022

青葉みらいづくり通信



青葉みらいづくり大学校 第2回

今年度の青葉みらいづくり大学校は、地域の「困った!」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね!」に変えるまちづくり講座です。第2回は、「見守り・居場所づくり」「担い手づくり」「防犯・防災」というテーマで3つのグループに分かれ、地域の課題や活動について共有し、アイデアの種を見つけるワークを行いました。一言で地域活動といっても、取組み方は多様であることを実感できました。



1 まずはメンバーを知ろう! 私の取扱説明書をつくる

皆さんが仲良くなるきっかけとして「私の取扱説明書」を作成しました。「自分を動物に例えると?」など9つの項目に答えるだけで自分を客観的に捉え、性格などが分かりやすく伝えることができます。意外な面や共通点が見つかり、お互いに親近感を持つことができました。



2 地域の困りごとを解決するには? 求む! 地域の困りごとと解決のアイデア

ワールドカフェ方式の話し合いを行いました。最初は各グループ内でそれぞれの困りごとや課題を出し合い、それを模造紙に書き出します。次に全員が別のテーブルに移動してそこに書かれた困りごとに対してアイデアやヒントを出し合いました。ある地域の困りごとが他でも同じであったり、逆にその困りごとを解決した地域があったりと、多くの人と対話することで



新たな発見と驚きを得ると同時に、悩みの共感もできました。各テーブルでの制限時間15分があっという間で、熱を帯びた話し合いとなりました。



3 アイデアシートを作ろう こうなったらいいな!

各グループの模造紙には、色とりどりのペンでアイデアがたくさん書き込まれていました。簡単に解決できないものもありましたが、「なるほど!」と頷けるものや、新たな視点が得られたワークでした。多くの意見交換をしたことで考えがリフレッシュされ、ワールドカフェで得た意見(アイデアの種)をもとに、こうなったらいいなという自分の思いを「アイデアシート」に記入しました。皆さんとても集中して取り組んでいました。



いろいろな考え、意見を聞いて課題解決に向けてヒントを得ることができた。具体的な方向付けを考えていきたい。



受講生の声

他地域との取組の違いなどもわかり自分の考えも整理できた。

ワールドカフェ方式の話し合いが大変参考になった。有意義だった。

第3回 他地区の事例から学ぼう

日時：12月17日(土) 9:30～12:30

場所：青葉区役所4階会議室

プログラム

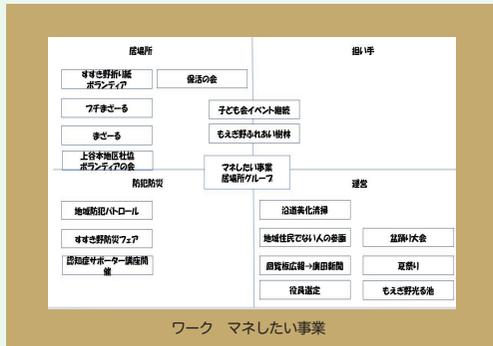
マイプランの種を発見する②

■ パネルディスカッション

- ・先行事例の秘訣を探る

■ ワーク マネしたい事業

- ・うまくいっている事業を共有
- ・うまくいっている事業を深掘り



地域でうまくいっている事業を付箋に書き共有



継続している成功ポイントは何？



他の団体と連携して実施している事業も多い



青葉みらいづくり大学校 2022

青葉みらいづくり通信



青葉みらいづくり大学校 第3回

青葉みらいづくり大学校は、地域の「困った!」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね!」に変えるまちづくり講座です。第3回目の講座の目的は、自分の地域の取組が他の地域にとっても課題解決につながることを実感してもらうことでした。前半は、区内の代表的な3つの事例の紹介を聴き、そこから参考にしたい「学びポイント」は何かを考えました。後半は、グループワークで受講生自身の地域の良い取組を出し合い、それぞれの取組の成功要因は何かについて意見交換しました。



事例紹介の様子

地域の事例から学ぼう!



奈良町連合自治会 関根会長

地域防犯パトロール 奈良町地区

毎月27日の交番の日に自治会・警察・消防・PTAとの合同の防犯パトロールを実施。近隣の町田市成瀬台町内会等との合同のパトロールなど、行政区域を超えた地域住民の連携にも取り組んだ。親子や中学生の参加など多世代の取組で参加者も年々増加している。



荻田西地区社会福祉協議会 松山会長

荻田西憩いの広場

荻田西地区

荻田西コミュニティハウス、連合自治会、民生委員児童委員協議会、友の会のサポートで地区社会福祉協議会が運営。憩いの広場と近隣の公園でラジオ体操を週4日、年間約200回開催している。ウォーキングや昼食会にも利用。住民同士が顔見知りになり、健康観察の機会となる。



焼き芋会 青葉台地区



「桜台公園」を知ってもらうために、愛護会や商店会、パークレンジャーが準備し活動開始。連合の区域内にある5つの小学校と近隣の2つの小学校も参加。600人を超える参加者と200人のスタッフで運営し、自治会と商店会、行政が連携し様々な課題に取り組んでいる。



青葉台連合自治会 山川会長

わが街のマネしてポイントは?

上手くいっているポイントどんなところ?



グループワーク
このワークでは「自分の自治会活動でうまくいっている事業事例」を付箋に書いてそれぞれに発表してもらいました。良いとこ自慢ならせせてと、皆さん熱心に取り組み

ていました。またその事例について「自治会以外の団体との連携」「次世代の参画」「地域住民のメリット」「地域への波及効果」の4つの成功ポイントとの関連を分析し意見を出し合い、「長く続いている活動は連携している団体が多い」など、活動を継続するために必要な要素に気づくこともできました。講座終了後もグループワークの盛り上がりそのままに、話が弾んでいる受講生の輪がいくつもありません。

グループ発表

見守り・居場所

地域ではさまざまな取組が行われている

連携することで多世代の居場所づくりを

担い手

ブシ敬老会をイメージしたオヤジの会が発足

ボランティア組織として地域で活躍中

防犯・防災

パトロールや防災訓練は実施しているところが多い

次のステップとして何が必要か
団体間の連携
子どもの参加が親に波及



第4回 アイデアをまとめよう

日時：1月21日(土) 9:30～12:30

場所：青葉区役所4階会議室

プログラム

プラン発表に向けて準備しよう

■ 発表 1分間スピーチ

- ・「私の好きな地域のイチオシ」

■ ワーク1

1. プランの種をグループで検討しよう
2. マイプランの構想を練ろう

■ ワーク2

- ・マイプランシートを書いてみよう



アイデアをまとめた資料を参考にしながら自分の「アイデアシート」を作成



今まで出たアイデアをまとめた「アイデアの種シール」

◆マイプラン個別相談会実施(1/25、1/26、1/31) 対面、オンラインにて開催



青葉みらいづくり大学校 2022

青葉みらいづくり通信



青葉みらいづくり大学校 第4回

「青葉みらいづくり大学校 2022」もいよいよ大詰め。1月21日に第4回講座を実施いたしました。前半は地域のお気に入りの場所を紹介する「私のイチオシ」1分プレゼンからスタート。続いて受講生が自身の地域の良い取組を発表して、全員で共有しました。後半はいよいよ最終回に発表するマイプラン作り。アイデアの種を見つけるワークに取り組み、さらに第2回、第3回に取り組んだワークの中から、課題解決に繋がる必要な要素を抽出してマイプランの方向性を見いだしました。今回は最終回でマイプラン発表会と卒業式です。みなさんの「マイプラン」を楽しみにしています。



私の好きな地域のイチオシ

受講生の皆さんに「私の好きな地域のイチオシ」1分間スピーチで発表してもらいました。ご自身で撮影された写真や紹介画像を見ながら皆さんの地元愛に溢れた熱意ある紹介で大いに盛り上がりました。青葉区の奥深い魅力を皆さんと再発見するとともに、最終回のマイプラン発表会の予行演習にもなりました。



私の好きな地域のイチオシでは地元ならではの情報がたくさん



マネしたい地域の取組を聞こう!

第3回で行ったワーク「わが街のマネしてポイント」の中から、もっと詳しく知りたい地区の取組を5人の受講生が紹介しました。

災害時の安否確認用に黄色いタオルを配布しています。防災の日には防災意識を高めるために実際にタオルを掲げる訓練をしています。「自治会だより」はお店情報の掲載もあり、多くの方の目に留まるような色々な場所に配布しています。



美しが丘四丁目南自治会 古谷さん



荻子田自治会 井上さん

地域のサークル活動がとても盛んです。新たに転入された皆さんに自治会のことを知っていただくために「ようこそ荻子田自治会へ」という冊子を配布しています。まずこの冊子をお渡しして、加入のお声掛けをしています。

自治会配布物の仕分け作業を軽減化したり、地域を見守る「気づきの和」の活動を横断的にを行っています。広報誌は読みやすい工夫をして、町内会イベントや地域の情報を発信しています。



鴨志田町内会 戸塚さん



美しが丘四丁目北自治会 藤本さん

いざという時に役立つ防災ハンドブック(『東京防災』)や地域独自の防災セットをワンセットにして全戸配布しています。災害時に1人でも多くの命が助かるようにとの思いで取り組みました。

ブシ敬老会をイメージしたオヤジの会が発足して、得意な分野で力を発揮しながら地域で活躍しています。将来の担い手として期待されるPTAとの協力関係も大切にしています。



あざみ野東自治会 吉村さん

さあ！マイプランをつくろう

1 アイデアシートを完成させよう!

今までのグループワークで出たアイデアをまとめた資料を参考にしながら、自分の「アイデアシート」を完成させていきます。シートの裏側までアイデアの種で一杯になった受講生もいました。その後、グループ内でそれぞれ自分のアイデアを発表して意見交換をしました。

2 アイデアシートからマイプラン作成へ

いよいよマイプラン作成です。「マイプランシート」に課題や課題を解決するための具体的な計画を記入していきましょう。最初に考えたアイデアシートの内容を発展させて、完成度の高いプランになっていきます。



第5回 マイプラン発表会・卒業式

日時：2月4日（土）13:30～16:30

場所：青葉区役所4階会議室

プログラム

自治会町内会の課題解決へ一歩踏み出そう

- マイプラン発表会
 - ・ 1人3分でマイプランを発表
- 交流タイム
- 卒業式
- 講座のふりかえり



受講生が思いを込めてマイプランを発表



実現に向けた抱負や計画を書いたマイプランシート



発表を聴き、発表者に応援メッセージを



卒業式を終えて、講座の感想をシェア



青葉みらいづくり大学校 2022

青葉みらいづくり通信



青葉みらいづくり大学校 第5回

11月にスタートした「青葉みらいづくり大学校2022」も2月4日に最終回を迎えました。最終回はこれまでの講座で学んだことを活かし、受講生各自で練り上げたマイプランの発表と卒業式です。防災を切り口にした地域交流のプラン、地域の情報共有を向上させるプラン、担い手を発掘するためのプラン等、地域課題に向き合う中から生まれた多様なプランを、思いを込めて発表していただきました。会場には連合自治会・町内会長の皆様や社会福祉協議会、地域ケアプラザの皆様が大勢ご出席くださり、心強い応援団となっていただきました。卒業生のお一人おひとりが、プランの実現に向けて、地域の皆様と共に歩みを進めてくださるよう、これからも応援し続けていきたいと思います。



学長、副学長、連合自治会・町内会長、受講生の皆さんと

マイプラン発表

いよいよ、受講生の皆さんが温めてきた思いを3分間にまとめて発表します。ほとんどの方が制限時間内にお話しされ、改めて皆さんのプレゼン力を感じました。ご出席の皆様には発表後、時間が限られている中で、それぞれの受講生に向けて、本当に多くのご意見や応援メッセージを書いていただきました。このことは受講生の皆さんの大きな励みになることと思います。短い期間でのマイプラン作成、そして発表、本当にお疲れさまでした。



卒業式

天下谷副学長のご挨拶の後、関根学長から受講生一人ひとりに卒業証書が手渡され、応援のお言葉をいただきました。



卒業式を終えて…

椅子を持って円座になり、一人ずつ講座全体を振り返りました。全ての過程を終了してホッとした雰囲気と、一緒に乗り越え「仲間」になった安心感で和やかに進みました。「今後も定期的に情報交換していくことになった!」という嬉しい報告もあり、講座で撒かれた種が、やがて実を結び「住みつけたい・住みたいまち 青葉」につながる可能性を感じました。



交流タイム

マイプラン発表の後は、発表を聴きにこられた方々と受講生との交流タイムになりました。



プランについてもっと詳しく聴きたい



交流の輪が
あちこちまで

ぜひ応援したい
という声も!

受講生の声

- 自治会活動は、地域ごとの特性を取り入れる、また活動を楽しむことが長続きの秘訣だと分かった。
- 他の自治会活動の良いところを学ぶことができたと共に、みんなが似たような課題を抱えていることが分かった。
- 皆さんの考えに共感することがたくさんあった。今後の活動に活かしたい。



「青葉みらいづくり大学校2022」を受講された皆さんの「マイプラン」です。
 地域課題に向き合い、地域への想いを基にアイデアをまとめて作成されました。
 原案をベースにした概要版でのご紹介となります。

戸塚さん(鴨志田町内会)

気づきの和連絡会「気づきシート」プロジェクト

地域への感謝や魅力の「気づき」を既存の地域福祉ネットワークで発信し、世代を超えた心の交流を広げて見守りあうあたたかい地域づくりをすすめたい

大路さん(鴨志田町内会)

キャンプ de 防災

家族単位で必要な食料や準備を持ち寄り、公園等でディキャンプを楽しみながら防災意識を高め、地域の助け合いやつながりを実感する防災体験を小規模からスタートさせたい

小柴さん(宮ヶ谷自治会)

健康ウォーキングの充実

地域の高齢化に伴う運動不足への懸念から健康ウォーキングや散歩などのイベントを増加し定期的に開催することで、地域かつどうへの参加を増加させたい

井上さん(荻子田自治会)

竹林を楽しむ遊歩道づくり

荻子田地区内にある手入れ不足の竹林地を自治会が主体的に、さらに関係機関とも協力しながら憩いの場や地域交流の場へと整えていきたい

松尾さん(上市ヶ尾町内会)

青葉を歩き、歴史・自然・人・アートを実感する

様々な活動団体や地域施設と連携して「まちあるき」を実施「歴史・自然・地形・人・アート」に触れ、産まれたまち、住んでいるまち「ふるさと・青葉 愛」の醸成を

村田さん(もえぎ野町内会)

担い手不足解消、継承プロジェクト

担い手不足解消、継承プロジェクト 社会の変化に対応し、多様な連携、スカウトチームの結成、デジタル化や青空カフェ等をすすめて、若い人や子育て世代が参加しやすく楽しくやりがいのある町内会を目指したい

金子さん(元石川平川自治会)

農作物収穫体験を通じた近所顔合わせ 井戸端会議の開催

地域の営農されている畑での農作物の収穫体験を通じて近所の顔合わせの場や避難経路の確認、町内会や子供会、老人会への加入のきっかけとしたい

藤本さん(美しが丘四丁目北自治会)

自治会の魅力、メリットのアピール

自治会活動の楽しさや充実感、地域とのつながり等、加入のメリットを前面に出した広報ツールやこんな町にしたいという声を元に会員提案型活動を進めることで加入率の向上や担い手の充実を目指したい

古谷さん(美しが丘四丁目南自治会)

自治会の役員の手(後継者)作りプロジェクト

安定した自治会運営のために役員後継者の引き継ぎ事項のツール化や事前研修等を実施して、苦労話などの負担感以上にやりがい感などの良かった事も伝わるようにしたい

吉村さん(あざみ野東自治会)

あざみ野東自治会会員は自治会に何を期待しているのかアンケート

自治会会員のニーズをアンケート調査し、結果によって活動内容を見直し、自治会参加を促し、会員の期待を満たす活動によって役員にもやりがいを感じてもらいたい

佐々木さん(柿の木台町内会)

あおば・つながる交流プラットフォーム

鶴見川遊歩道に続く散歩道にある横浜市有地を活用し、気軽に立ち寄り、地域の人々や隣接する支援学校との多世代・多様な交流ができる場づくりをしたい

日高さん(あかね台一丁目自治会)

あかね台一丁目自治会 IT化プロジェクト

IT機器に不慣れな方向けの教室なども実施し、オンライン会議やホームページやSNSを活用して、防犯・防災情報や自治会からの情報発信を改善したい

佐藤さん(もみの木台自治会)

あおば親子テーブル ~ Susukino ~

親子が各々思いを共有したり体験ができる場を作ることで、特に不登校の子どもや悩みを抱えている保護者の孤立を防ぎ、誰もが住みやすい町づくりを目指したい

山口さん(桜台東自治会)

桜台東自治会・高齢情報弱者支援防災特別プロジェクト

ライフライン機能停止状況下においても高齢情報弱者への支援活動ができるように連絡網の作成や組織を編成し、高齢情報弱者でも住みやすい地域づくりをしたい

武智さん(つつじが丘自治会)

かまどベンチって!?! ~ であってみよう!つかってみよう! ~

地域の公園に防災時にかまどに変えられるベンチを備え、学びやイベントも実施、防災意識の向上と学校との連携もはかり、助け合いの力を育みたい

丸田さん(北ヶ谷自治会)

魅力づくり、魅力発掘が地区の活性化の栄養源

奈良の豊かな自然環境を生かしたウォーキング企画や空き家活用などを通して地域の魅力発見、魅力発掘、魅力づくりをはかり自治会活動への関心を高めたい

今井さん(桜台東自治会)

~防災の拠点・住民のコミュニケーション強化~ 我が地区・町に「自治会館」を建設しよう!

高齢者の居場所や避難場所の役割、サークル活動の活性化や若い世代の自治会活動への理解や参加を広めるために「自治会館」づくりをしたい





MY PLAN
青葉みらいづくり大学校 2022

つつじが丘自治会 武智さん
かまどベンチって!?
〜であってみよう!
つかってみよう!〜

上市ケ尾町内会 松尾さん
青葉区を歩き、
歴史・人・アート
を実感する

美しが丘四丁目北自治会 藤本さん
自治会の魅力、
メリットのアピール

宮ヶ谷自治会 小柴さん
健康ウォーキング
の充実

荏子田自治会 井上さん
竹林を楽しむ
遊歩道づくり

もえぎ野町内会 村田さん
担い手不足解消、
継承プロジェクト

柿の木台町内会 佐々木さん
あおば・つながる
交流プラットフォーム

美しが丘四丁目南自治会 古谷さん
自治会役員の
担い手(後継者)作り
プロジェクト

北ヶ谷自治会 丸田さん
魅力づくり、
魅力発掘が、
地区の活性化の栄養源

鴨志田町内会 戸塚さん
気づきの和連絡会
「気づきシート」
プロジェクト

もみの木台自治会 佐藤さん
あおば親子テーブル
〜 Susukino 〜

鴨志田町内会 大路さん
キャンプ de 防災! !

元石川平川自治会 金子さん
農産物収穫体験を
通じたご近所顔合わせ
井戸端会議の開催

あかね台一丁目自治会 日高さん
あかね台一丁目自治会
IT化プロジェクト

あざみ野東自治会 吉村さん
あざみ野東自治会会員
は自治会に何を期待し
ているのかアンケート

桜台東自治会 山口さん
桜台東自治会・高齢
情報弱者支援防災
特別プロジェクト

桜台東自治会 今井さん
〜防災の拠点・住民の
コミュニケーション強化〜
我が地区・町に「自治会館」
を建設しよう!

新荏子田第三自治会 大場さん



講座を終えて 受講生・マイプラン発表会出席者からの感想

地域について意欲や問題意識をもって、みらいづくり大学校に参加された皆様に心から敬意を表します。

この熱い思いをぜひ、継続していただき、ひとつでも多くのマイプランが実現していけるよう、伴走支援できればと思います。

青葉区の皆様の熱い思いを聞かせていただき、地域支援の職員として勉強にもなりつつ自分も頑張りたいと思いました!

短期間で内容ぎっしりの講座に参加して、とても良かったです。今後とも応援団(隊)及びご指導のほどよろしくお願いたします。

これから具体的な取組に向けて、ケアプラザはもちろんですが、区役所の横のパイプで後方支援をしていくが必要だと思いました。スタートの発想が区民の方であるということが、とても良いと改めて感じることができました。



青葉みらいづくり大学校に参加された方々の意欲の高さに驚き、嬉しさを感じました。地域ケアプラザ職員として心強く、今日参加させていただいたことで新しいつながりもできて、有意義な時間を過ごすことができました。来年もぜひ開催して、地域づくりに前向きな方が増えることを願っています。

次年度の事業計画を策定することができました。

方法に違いがあっても多世代の交流や、地域活動の次世代へのつながりなど共通する課題が見えました。プラン発表も素晴らしかったです。

他の町内会の取組が参考になりました。皆さんのアイデアや実績が青葉区や他区に広がることで、住み続けたい街になると思いました。楽しく活動できる自治会、ぜひ実現したいと思います。ありがとうございました。

発表の時間が短く、内容がよく伝わりにくい?ので、発表方法や時間を考えてはどうか。

同じような悩みを持つ人と情報交換できて大変有益でした。他チームの話も使えるようなアイデアや活動があり、大いに参考になりました。

質問の時間が欲しかったです。スケジュール的に可能かと思いましたが、もう少し深掘りできればよかったです。

「青葉みらいづくり大学校 2022」を終えて

「自治会町内会の活動を活性化するにはどのようなプログラムが必要なのか」

昨年7月から青葉区役所の青葉みらいづくり大学校担当チームと議論を重ね、自治会町内会活動の当事者である受講生の方が、前を向いて一歩踏み出したいくなるような、そんなプランを生み出す講座にしたいと、何度もプログラムを修正しながら、講座初日を迎えました。

時にはアクシデントが起きたり、時には運営にご意見いただく場面もありました。

毎回限られた時間内に、様々なワークに取り組んでいただく中で、当初の「自治会町内会の課題は難しい」「次世代の担い手なんて見つからない」という空気が少しずつ和らぎ、「このアイデアはいいね」「これならできるかも」という呟きが増えてきました。

最終回で発表された「マイプラン」は、それぞれの自治会町内会活動の現状に合わせた、リアルなプランで、実現に向けた熱いメッセージが込められていました。

受講生のおひとりが仰った、「自治会町内会活動はこの町に住むすべての人が、しあわせになるための活動」だという言葉が忘れられません。

「ここに参加するまで、他の自治会がどんな活動をしているのかわらなかった」

「これからはお隣の自治会と定期的に情報交換したい」

今年度参加いただいた受講生の方の言葉です。

この講座をきっかけに、青葉区の自治会町内会同士の横のつながりが生まれ、広がっていくことを願ってやみません。

「青葉みらいづくり大学校 2022」に関わってくださったすべての皆様に感謝いたします。

NPO法人 まちラボ 大越雅美



地域の「困った！」を持ち寄って
みんなのアイデアで
「イイネ！」に変えよう



講座は青葉区のまち探索からスタート



卒業式を終えて、学長、副学長、連合自治会・町内会長、受講生の皆さんと